

## 『本の感想』

元教育委員会指導主事の先生より太田の近著「生徒の英会話力が向上する 英語劇・ドラマメソッド」を読まれ、出版編集部へお手紙で次の感想を頂きました。お手紙をもらうのは珍しい事と編集部は喜んでいました。以下抜粋（イタリック体で）を載せます。

先生が注目された点は：

- 「いつも授業で使っている教科書が劇の台本になる」
- 「ドラマメソッドは5W1Hではなく6W2HJ+plus 『6W2H一覧表』」
- 「ドラマメソッド」・・・おとなしい子でも恥ずかしがり屋でも、教室で楽しく学んで…」
- 「台本と遊ぼう (Play with a script)」 「言葉と気持ちキャッチボール」
- 「『ごっこ遊び』の延長と考えてもらえれば・・・」
- 「ディーテルをきちんと準備すること」「ディーテルをつくり込むことでよりリアルな…」
- 「コミュニケーション能力は、4技能5領域とは次元が違う能力であり、従来の …」
- 「Super-Stage 導入による5大効果」そして「付録 Evaluation 評価表」 などなど…

先生は我々の今までの本も活用されていて、次のご意見を頂きました。

『英語で遊ぶ 25 のゲーム 15 のダイアログ集』と『楽しい英語の授業マニュアル』にどれほど、お世話になったことか。提案された内容に、とんと膝を打ち、首がサロンパスの助けが必要になるほど、そーだ！そーだ！と、うなずき、大いに触発？され、授業作りの基本コンセプトとして、長年活用させていただいています。教員対象研修でも、たびたび、両書の「よさ」を紹介いたしました。改めて大きな感謝の気持ちをお届けしたいと思います。」

さらに近著にも触れ、

この度の「太田雅一『英語劇ドラマメソッド』 幻冬舎, 2024年NEW」、幸運にも出会うことができました。即、アマゾン購入。これまで出版された2冊の内容の「基本のキ」が実にわかりやすくまとめられていました。特に、今回、私は「第4章英語劇の台本を使用した指導例」から多くのことを学ばせていただきました。実に丁寧に、教室での学習者との対話例も豊富に、そして優しい言葉・まなざしで記されています。またまた、執筆された太田先生をはじめ、編集スタッフの皆様には大きな感謝です。ありがとうございます。現場の先生方も大いに活用していただきたいと願っています。

とてもユーモアにあふれ、勇気づけられる内容で直ぐに先生にメールを打ち、感謝を述べるとともにブログ掲載の許可を得ました。ありがとうございました。